

## 優れた人材を確保し、革新を担える人財として育成

優れた人材を確保し育成することは、革新を担う企業の義務といえます。  
企業説明会をはじめ、大学生のキャリアサポートを行い、日吉の技術や成長性について紹介しています。

### 滋賀県中小企業団体中央会 企業見学会を実施 2014.9.18

【企業説明】 県内の大学生を対象に実施

説明会テーマ

「～滋賀の企業再発見～企業見学会／OB・OG 懇談会 BtoB 企業を見に行こう！」

「～滋賀の企業再発見～企業見学会／OB・OG 懇談会 BtoB 企業を見に行こう！」をテーマとした企業見学会で学生が来社。

社内見学会と社員との意見交換会を通して、日吉の業務や取組みを知ってもらい、社員の生の声を聞いてもらうことで仕事を具体的にイメージしてもらうと、学生との交流を通じて新入社員の成長を促す人材育成を目的としています。



### 就活マナー研修・ミニインターンシップに参加 2014.9.10

【就活研修】 学生のインターンシップの体験や OB・OG 訪問などを展開

県内の大学生を対象に、中小企業 5 社が臨みました。日吉はミニインターンシップに参加。

若手社員がプレゼンを実施し、学生との質疑応答を行いました。学生たちの積極的な姿勢を通じて、現在の自分の立場を考える人材育成の機会としています。



その他、年間活動を通し人材育成に取り組んでいます。

- 2015 年度 内定者オリエンテーション
- 2014 年度 新規就職者人権問題研修会
- 新規就職者人権問題研修会
- 平成 27 年度新卒選考会
- 滋賀県中小企業団体中央会・龍谷大学「産学地域連携基本協定」締結記念連携事業セミナー&マッチング on Blanca

NEW!

リクルートサイト リニューアル!

日吉が求めるのは熱い想いを持った質の高い人材。その獲得に向け、魅せるツールの整備や若手リクルーターの活用を実施。



<http://www.hiyoshi-es.co.jp/recruit/>

株式会社 日吉 リクルート

## 地域との協働や CSR への積極的な取り組み

日吉では CSR や地域協働への準備事業として、清掃やイベントへのボランティア参加を進めています。

さまざまな人とのふれあいを通じ、社会貢献に対する心を育てています。

### 第 45 回 ほっとタウンスクリーン作戦 2014.9.2

【清掃活動】 八幡堀一帯の清掃にボランティア参加



近江八幡市への観光客を心地良く迎えることを目的に、長年取り組まれている清掃活動に新入社員が参加しました。約 2 時間、一帯の空き缶やタバコの吸い殻等のごみを拾ったり、生い茂っている雑草を刈ったり、公園に発生している藻の処理を行いました。

### 地域福祉活動フォーラム 2014.11.28

【地域フォーラム】 地域と若者や子どもとの関わりについて学び合う



地域で活躍している若者の姿や、子どもの健全な成長を支援している活動を取り上げ、世代を超えて学びあう機会として毎年開催されています。日吉からは豚汁コーナーのスタッフとして参加。積極的に地域貢献活動へ参加する意欲を培う機会としています。

### 「琵琶湖の日」環境美化活動 2014.7.1

【環境活動】 環境美化活動への参加意欲向上を目的として参加



近江八幡運動公園に集合し、4 つのコースに分かれて約 2 時間の清掃活動を行いました。環境美化の基本は小さな行動の積み重ね。社員への浸透を測りたいと考えています。

### P.P.P 滋賀 奥びわスポーツの森「花とみどりのつどい」に参加 2014.10.11

【環境イベント】 カレーライスとアイスクリームの販売を担当

快適な県民生活・活動ができるように環境保全や施設保全を行う団体、P.P.P 滋賀のイベントに参加。ボランティア活動の一環で、花の苗・種の配布、木工クラフト、スーパーボール・ヨーヨーすくいといった催しがありました。担当したカレーライスは好評のうちに売り切れました。



# Discovery

HIYOSHI

March 2015

株式会社 日吉 vol. 06

info@hiyoshi-es.co.jp

www.hiyoshi-es.co.jp/

社内報「hot info」は「Discovery」に名称を変更しリニューアルしました。

本社: 〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町 908 TEL (0748) 32-5111 (代) FAX (0748) 32-3339 / 東京支店: 〒107-0052 東京都港区赤坂 9-1-7 TEL (03) 5772-6073 (代)



## 世界を舞台に活躍するための人材や人脈づくりを推進

日吉は 1980 年代から途上国の産業人材育成を支援し、近年では社員を海外に派遣するインターンシップ事業に参加。ビジネスを世界に広げるための人材や人脈づくりを積極的に進めています。

### HIDA\*/AOTS 同窓会\* 代表者会議に参加 2014.10.29～10.30

【インターン】 開発途上国の人材育成を通じたネットワークづくり

2014 年 10 月 29 日・30 日と、東京で HIDA/AOTS 同窓会代表者会議が開催されました。日吉は 1990 年から AOTS の研修制度を通じて来日した 8 カ国 26 名の研修生を受け入れてきました。

代表者会議は、帰国した研修生らによる成果発表の場です。指導によって得られた知識や経験がどのように活かされているか、当該国や地域の経済、社会で評価された事例を語り合うことで、情報共有による「成功の連鎖」の促進を目的としています。

会場では日吉の社名や活動を知る多くの関係者と出会うことができました。先人が培ってきた功績とネットワークを次の世代へと引き継いでいきたいと考えています。



\*HIDA (The Overseas Human Resources and Industry Development Association of the 国) (一般財団法人海外産業人材育成協会) 2012 年に海外技術者研修協会 (AOTS) 海外貿易開発協会 (JODC) が合併し HIDA となった。開発途上国の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関

\*AOTS 同窓会 (The Association for Overseas Technical Scholarship of the 国)

日本で研修し帰国した研修生が AOTS (現 HIDA) 研修という共通体験を基盤に結束し世界各地で自主的に組織した NGO

### バングラデシュやインドの経営者層と情報交換 2014.10.16～2014.11.8

【海外情報】 AOTS 同窓会代表者会議への参加を機に海外から多くのお客様が来社

そのひとり、Shaumitra 氏は 1990 年に日吉において研修を受けた方で、現在は自国バングラデシュで建設関連企業の経営を行っています。日本で受けた研修の経験をもとに自国で NPO 基金を立ち上げるなどの取り組みを進めています。

他には、バイオ関連機器メーカー Scigenics Biotech 社の S. Gopal 会長、ABK-AOTS タミールナドゥセンターの G. Chandramohan 代表、精密機械会社の会長とタミルナドゥ州日印商工会議所代表を兼務する K. Balasubramanian 氏、日本テクノロジー社という IT 企業の Sriram 社長など親交の深い方々が訪問され、インドのビジネスについて情報交換を行いました。



### 日吉からインドへインターンを派遣 2014.9.2～2015.2.26

【インターン】 2014 年度国際即戦力育成インターンシップ事業に参加

ビジネスのグローバル化が進む一方、国際舞台で活躍できる日本人人材が不足しています。

この事業は経済産業省の委託により HIDA と JETRO が共同で実施。

海外インターンシップを通じ、日本と派遣国との架け橋となり得る人材の育成を目的としています。日吉からは過去 2 名がベトナムへ、今年はインドに 1 名派遣しました。受入れ先はバイオ機器関連メーカーで日吉との親交も厚い Scigenics Biotech Pvt. Ltd. です。

日吉インドアの事業拡充に向けた情報収集とネットワークづくりを目的に、営業や人事をはじめ、運営管理、顧客対応、安全管理、教育方法、法規制など多彩な研修を受けました。



- 用紙: 琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 適切に管理された森林の木材を利用した FSC® 認証用紙
- インキ: 大豆油・インキを含む植物油インキ
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造・廃棄に発生する CO<sub>2</sub>を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO<sub>2</sub>排出量: 335kg/5,000 部

## グローバルな連携と協働で技術革新を支援



大学などの教育機関や研究機関との交流を通じ、高度な技術を社会に還元しています。

### 京都大学 - 清華大学環境技術共同研究教育センター研修生来訪

**インターン** VOC 分析のための前処理やサンプリングを主に研修

4 度目となる研修生受け入れを実施。中国清華大学李 欢准教授および研究生7名、京都大学大学院生2名が来社しました。営業内容の紹介や社内見学の後、水中(河川・飲料水・工場排水)のVOC(揮発性有機化合物)分析を行いました。

当日はNHKのTV 取材もあり、研修生へのインタビューも行われました。



### 中国山西省大学、環境分野の先生方が来社

**技術交流** 水処理やケイラックス、廃棄物処理技術の紹介と意見交換を実施

北京、浙江省、湖南省、広東省に続き山西省での周知活動実施を検討しています。

**インターン** 環境技術を身近に感じてもらうため、国内外のインターンシップ、研修生を受け入れています。

#### 海外

- ILEC (国際湖沼環境委員会) 研修生
- 経済産業省 民間企業派遣研修生
- インドスピーチコンテスト 優勝者
- JICA (国際協力機構) イラン調査団
- インドインターン生



### 京都大学との共催による「情報交換会」が3年目に

**研究発表** 同大学院工学研究科・清水教授と院生、日吉の社員とインド研修生が参加

海外における水汚染や廃棄物問題について発表が行われました。



#### 国内

- 奈良先端科学技術大学院大学
- 長浜バイオ大学
- 関東学院大学
- 滋賀大学
- 滋賀県立大学
- キャリアプラザビジット研修生
- 環境少年団研修会
- 八幡中学校
- 八幡工業高等学校
- 滋賀大学教育科学部附属中学校
- 彦根工業高等学校
- 八幡商業高等学校
- 守山市立明富中学校
- 瀬田工業高等学校

### 国内外の見本市や展示会に出展し日吉の環境技術をPR

- ベトウォーター2014出展(ベトナム)
- 台湾エコプロダクツ国際展(台湾)
- 第15回世界湖沼会議(イタリア)
- びわ湖環境ビジネスメッセ2014出展
- 第5回国際水ソリューション総合展(東京)

### 海外事業 着実に進展している日吉の海外戦略

#### ベトナム

日吉を含む産官学コンソーシアムが「ベトナム国 水産加工工場における排水処理の水質と施設運営の改善事業」を提案。さらにJICA 草の根技術協力事業に採択されました。

#### インド

チェンナイにある日系企業の排水処理施設を訪問。6月よりインド子会社にて分析ラボを立ち上げました。

#### 中国

ダイオキシン生物検定法に関する取り組みを推進。ひとつは公定法化推進に対する協力、もうひとつは政府の実験室導入に伴う国際入札の情報収集を行い、広東省の民間企業とのビジネス提携について検討を重ねています。



## 交通安全への取り組み

社内外の交通モラルと地域の安全向上に向けた取り組みを実施。

### 交通安全出動式 2014.4.5

交通安全団体による交通事故防止活動を支援。自動車の安全利用の推進やシートベルトの正しい着用の徹底、飲酒運転の根絶などの徹底を実行しています。



### 交通安全運動

新年度のスタート日である4月1日は全社員が街頭に整列し、安全運転推進に向けた啓発活動を実施しています。さらに交通安全期間中は毎日、それ以外でも毎月、街頭にのぼり旗を持ち啓発活動を行っています。



### ヤングドライバー講習 2014.4.11

近江八幡自動車教習所の交通安全講習会に参加。市内における要注意箇所の復習をはじめ交通ルールと安全意識の再確認を行いました。



## 技術力向上に欠かせない有用な情報の提供と共有

日吉では独自の環境技術向上に向けた取り組みとして識者による講演会を実施するほか、様々なシンポジウムや研究発表の機会に、環境性能を向上させる情報の提供を行っています。

### 滋賀県公衆衛生学会及び日本環境毒性学会にて発表



化学物質等が生物にどのような影響を与えているか、その評価にはオオミジンコ (Daphnia magna) の急性毒性値が多く利用されています。しかし、琵琶湖など特定地域に生息する生物に対する影響に関しては十分なデータがなく、オオミジンコの毒性値がリスク評価として適用できるかどうかは疑問でした。そこで、オオミジンコと琵琶湖由来ミジンコ

(Daphnia pulicaria) の両者を使って同じ試験を行い、それぞれに現れた影響を比較したところ、化学物質によっては数倍反応が異なるものがありました。今後も試験を継続しつつ、これらの差異について高精度に検証、追求していきます。

第45回滋賀県公衆衛生学会/第20回日本環境毒性学会研究発表会

講演先: ピアガ淡水 滋賀県立県民交流センター/富山県富山市 富山国際会議場

講演者: 林 芳和

講演名: 琵琶湖由来ミジンコを用いた急性遊泳阻害試験とオオミジンコとの比較

・硫酸銅五水和物、ニクロム酸カリウム、硫酸マンガ五水和物、キノドンフロアブル、メトミノストロビンにおける調査、琵琶湖由来ミジンコの急性遊泳阻害試験を実施  
・Daphnia magna との違いを調べる

Daphnia magna (オオミジンコ)	Daphnia pulicaria (琵琶湖由来ミジンコ)
体長 親虫4.0~5.0mm	親虫1.5~3.0mm
特徴 卵や殻に明瞭な背線がある	Daphnia pulex と近縁で、頭部背線から吻端の曲線が滑らか
入手源 国立環境研究所	滋賀県琵琶湖環境科学センター



○48 時間 EC50 値の比較において、Daphnia pulicaria は、硫酸銅五水和物で3.2 倍、キノドンフロアブル(有機銅農薬)で2.5 倍、Daphnia magna の結果より高い毒性を示した。  
○ニクロム酸カリウム、硫酸マンガ五水和物およびメトミノストロビン試験では、Daphnia pulicaria と Daphnia magna の間に毒性の差異は認められなかった。

### 第17回日本水環境学会シンポジウム



講演先: 滋賀県立大学 講演者: 久保 明日香 講演名: 残留農薬の分析法開発とその応用  
「水質モニタリングの過去・現在・未来～琵琶湖・淀川水系からの発信～」というセッションにおいて、「残留実態が明らかでない農薬の分析法開発とその適用」の発表を行いました。琵琶湖集水域内における環境存在実態調査を実施した結果、流入する水域と流出河川では検出農薬が異なることや、長期残留が確認できたことを伝えました。

今後も種々の農薬についての検査法開発と環境存在実態調査を進めたいと考えています。



### 関博士(化学物質評価研究機構)を招き「水生生物を利用した排水管理について」の講演会を開催

事業排水への生物反応を利用した影響評価、WET\* 評価について

WET 評価に欠かせないバイオアッセイ実施手法の基本的な説明と、結果に基づく毒性削減評価及び毒性同定評価について講演が行われました。琵琶湖周辺企業による化学物質の使用と排出に WET 規制が適用される

ことになれば、日吉にとっても大きなチャンスとなります。今後の動向に注視しつつ取組みを進めていきたいと考えています。

\*WET… (Whole Effluent Toxicity) とは、排水が生態系に与える影響を「魚類(ヒメダカ等)」「甲殻類(ニセネズミミジンコ)」「藻類(ムシカズギモ)」など水生生物を使って評価する手法

### 講演 環境産業にみる、仕事観・職業観の醸成。

京都学園大学 業界研究セミナー 日本の環境産業～環境ビジネスの現状

講演先: 京都学園大学 業界研究セミナー 講演者: 村田 弘司 社長

講演名: 「日本の環境産業～環境ビジネスの現状～」

その他、弊社 社長講演…立命館大学、龍谷大学 等



## 表彰

### ○不当要求防止責任者選任事業所

暴力団対策法では、事業所に不当要求防止責任者を選任することが努力義務とされています。日吉では西野 信司 取締役が「責任者講習」を受講して責任者となり、選任事業所になりました。

### ○滋賀県産業廃棄物協会 優良従事者表彰

「滋賀県産業廃棄物協会第2 回通常総会」の優良従事者表彰式において、日吉からは保全課の南 勝文 次長と大島 正則 主任の2 名が表彰されました。これを契機に、さらなる安全作業、安全運転意識の浸透を測りたいと考えています。

